

ECMAScript

JavaScriptの調べごとをしていた時にECMAScript、ES2015（ES6）などを見かけたことはありませんか？

またこの今後のこの章にはECMAScriptが関わってくるのと、実務に入ってから関わって来ます。

ECMAScriptについて

90年代にJavaScriptが登場してから使われ始めた頃、ブラウザによって仕様が違っていて開発が非常に大変でした。

もともとJavaScriptはNetscape社のブラウザで使われる言語として誕生したので、他のブラウザで使用されることを想定されておらず各ブラウザはJavaScriptを独自に拡張していたわけです。

そのため、各ブラウザごとに独自の発展を遂げまったく標準化がされていない言語となっていました。

これではいろいろ問題があるとして、Netscape社は国際標準化団体のECMAに依頼してJavaScriptのコア部分を標準化しました。これがECMAScriptと呼ばれるものになります。

つまり、JavaScriptはECMAScriptに準拠した言語であると言えるわけです。

注意点

ECMAScriptは各ブラウザの独自拡張を限定的に認めているので、ブラウザごとに若干仕様が異なる部分もまだあります。

バージョンの表記について

これまでのバージョンをさっくりまとめると下記ようになります。

バージョン	公開日
ECMAScript1	1997年6月
ECMAScript2	1998年6月
ECMAScript3	1999年12月
ECMAScript4	破棄
ECMAScript5	2009年12月
ECMAScript5.1	2011年6月
ECMAScript2015	2015年6月
ECMAScript2016	2016年6月
ECMAScript2017	2017年6月
ECMAScript2018	2018年6月
ECMAScript2019	2019年6月
ECMAScript2020	2020年6月

ECMAScriptは略称（通称）で記述されることもあり、たとえばECMAScript5であれば**ES5**のように表記されます。

2015年以降公開されたバージョンからは年号を含めるようになりました。

略称はES5づづいており、たとえばECMAScript2015の場合は**ES6**と表示されます。（ここが少しややこしく、ECMAScript2015=ES5と勘違いしないようにしましょう。）

ブラウザ

バージョン表記について触れましたが上記の表を見て分かりますが毎年更新されているのが分かります。

毎年バージョンが更新されているからと言ってブラウザがすぐに対応できるとは限りません。

更新されるまではどんな内容なのか把握しきれないのと、ブラウザで問題なく動くか検証が必要です。

また、ブラウザも複数存在し、処理エンジンはブラウザ毎に違うので対応するタイミングなども変わってきます。

下記のサイトを開いて見てください。

[Kangax](#)

どのブラウザが何に対応しているのか表で確認できます。

ナビバー左上の5、6がes5、es6。2016+がそれ以降で、nextが今後対応されるであろうもの（対応するかは未定）が確認できます。

あとは確認対象とブラウザで照らし合わせれば確認できます。